

田沼意次

【たぬまおきつぐ】

(1719-1788) 江戸中期の幕臣。小姓から身をおこし、将軍家重・家治に仕えて栄進を重ね、1767 年側用人、遠江（とおとうみ）相良藩主となる。72 年老中となり、積極的な経済政策を展開、田沼時代を現出した。一方、物価が騰貴し、賄賂政治が横行したため、士民の攻撃を受け 86 年老中を退任。

- 幕末辞典 -